

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● トラック搭載式フェリンググラップル導入見学会を行いました！

近年、風雪害等による倒木が増加しており、ライフラインを確保するためにも危険木を未然に処理することが急務となっています。しかし、危険木処理は、特殊な伐採技能を必要とするほか処理作業にも多くの労力が必要となります。また、高所作業車やグラップルといった複数の機械を手配する必要があります。

こうした中、昨年7月にコンソーシアムが行った海外先進地調査において発掘した、危険木処理に有効な「トラック搭載型フェリンググラップル」（以下、「フェリンググラップル」という。）を木質バイオマスエネルギー利用WGのリーダーである（株）丸光イトウ（代表取締役社長 伊藤峰由）が日本で初めて導入しました。そこで、平成31年2月26日（火）森林文化アカデミー内にて、実機による会員向け実演を行い44人の参加者が熱心に見学しました。

このフェリンググラップルはオランダ製の機械で、従来のグラップルに幹や枝を掴むことができるチルト機能と、樹木を切断するチェーンソーが備わったアタッチメントです。立木の枝や幹を伐採し、トラックへの積み込みまでの一連作業が運転手1人で可能です。

また、機種は2タイプあり、今回導入した機種は最大伐採直径が35cmまでですが、最大伐採直径が50cmまで可能な機種もあります。いずれの機種も既存のトラック搭載型グラップルがあれば、簡易な油圧配管の改造を行えば取付けられます。

[フェリンググラップルの特長]

- ①作業時間の短縮（従来作業の4割削減）
- ②作業人員・使用車両の削減
- ③高所作業の危険性の回避
- ④グラップルと同じ操作レバーで作業可能
- ⑤既設グラップルとの交換取付けが可能

今後は、（株）丸光イトウが輸入し、（有）岐南車体工業が販売・メンテナンスを行います。

【お問合せ先】

■（株）丸光イトウ：0574-61-0171(代) ■（有）岐南車体工業：0586-89-5250



● 自然由来成分による防腐・防虫化木材の開発について試験結果報告会を実施！

『ぎふの木』の新たな創造ワーキンググループ」では、樹木の枝・葉から抽出した成分を木材に加圧注入して防腐・防蟻効果を高める製品開発を行い、その一環として平成28年度より京都大学生存圏研究所にて性能分析調査を行ってきました。

この一連の性能分析調査が完了したことから、去る2月26日(火)、会員の皆様向けに試験結果報告会を森林文化アカデミーにおいて開催しました。会員12名が参加し、試験結果については飛騨産業(株)きつつき森の研究所の棚橋光彦所長から報告をいただきました。

試験の概要及び結果については、次のとおりです。

● 試験の概要

- ・ 県内に生育している樹木のうち、抗菌効果が高いと言われる、ネズコ・ホオノキ・ヒノキ・カラマツや、スギ、クリから、樹木成分を高温・高圧下で圧搾し、蒸留液等を得る。
- ・ ヒノキ・スギ・クリの材に蒸留液等を注入。
- ・ こうして作製した木材を、J I S 準拠の試験で腐りにくさ、耐シロアリ性を評価。

● 試験の結果

- ・ ヒノキにネズコの蒸留液を注入したものが、最もシロアリの害を受けなかった。
- ・ 白色腐朽菌に対しても、ネズコを使用したものの抗菌効果が高い。

この結果をふまえ、ヒノキにネズコの蒸留液を注入した木材をウッドデッキに加工し、森林文化アカデミー内に設置しました。(前号かわら版 [14号:H31.1.30]にも掲載。)これにより、屋外環境で防腐・防蟻効果を実地検証し、外構材としての商品化に向けてより効果的なデータを得られると期待しています。試験結果報告会では、このウッドデッキの見学も行い、参加者で活用方法、製品展開についての意見交換を行いました。

今後は、製品製作にかかるコストの低減について検証を進める予定としています。



▲防腐(上)・防蟻(下)の試験の様子



ウッドデッキの見学と意見交換の様子

< 3月のコンソーシアムの主な予定 >

- 5日：木材生産の効率化WG (於：森林文化アカデミー テクニカルセンターA棟)
… 改善実施プロジェクト実践コースの取組成果発表会を開催します。
- 15日：高付加価値木材製品開発WG 第2回検討会 (於：森林文化アカデミー 多目的室)
… 今後の圧密木材製品の用途開発に向けての意見交換会を実施します。
- 15日：第6回ワーキンググループリーダー会議 (於：森林文化アカデミー)

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局 (岐阜県立森林文化アカデミー内)
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com